

ANIMATED IMAGINATION

アニメイテッド・イマジネーション

視覚への欲求



Stelarc
Takuro Osaka
Kazutaka Tazaki



Tomoaki Ishihara



Triadic Ballet
Ballet Mecanique
Light Display
Muratti Marches on
Anaemic Cinema
Emak Bakia



Atsushi Sato

Yukio Fujimoto



Momoko Naruke

■パフォーマンス■ 8月30・31・9月1日 (19:00～)
「ビデオ・シャドウ〜オートマティック・アームと第3の手」
ステラーク 逢坂 卓郎 田崎 和隆
(パフォーマンス) (ライト・アート) (サウンド)

■出品作品■ 石原 友明(レンチュラー3Dピクチャー)
佐藤 篤之(インタラクティブCG)
成毛 桃子(ホログラフィ・インスタレーション)
藤本 由起夫(3D他、視覚的オブジェ)

■上映作品(予定)■ 「トリアディック・バレエ」 原案:オスカー・シュレンマー
「バレエ・メカニック」 フェルナン・レジェ
「ライト・ディスプレイ」 ラスロ・モホリ=ナジ
「ムラッティの行進」 オスカー・フィッシンガー
「アナミック・シネマ」 マルセル・デュシャン
「エマク・バキア」 マン・レイ

■ワークショップ■ 「メディア・ア・ラ・カルトースキャナによるイメージ変換プロセス」

講 師: 草原 真知子 (CGコーディネーター)

日 時: 8月24(土)・25日(日) 2日連続 10:00～16:00

定 員: 一般(中学生以上) … 20人

会 場: 東京都写真美術館 1階展示室

参加費: 無料(昼食持参)

申 込: 往復はがきに住所・氏名・年齢・職業・電話番号を明記して当館まで
お送り下さい。申込多数の場合は抽選にさせていただきます。

締 切: 8月17日 必着

会 期: 平成3年8月30日(金)～9月8日(日) 「入場無料」

開催時間: 12:00～20:00(最終入場19:30)

東京都写真美術館

東京都渋谷区恵比寿4-19-24 Tel. 03-3280-0031

展示会ご案内: テレホンサービス 03-3280-0099

ANIMATED IMAGINATION

映像工夫館シミュレーション

この展覧会は、東京都写真美術館の総合開館時(平成6年度予定)に併設される「映像工夫館」のシミュレーションとして実施するものです。

映像分野の芸術は、影絵や幻灯器に始まり、今日のハイ・ビジョンやCG等に至るまで、テクノロジーに支えられて飛躍的な進歩を遂げたかのように見えます。しかし映像芸術の根底でそれを支えているものは、「視覚への欲求」です。また、映像芸術は、常にある状態から次の状態への移行の可能性を持っています。動かない映像から動く映像へ、平面から立体へ、一方向から双方向へ、演じる肉体からそれを写しとめる映像へ、さまざまな移行と変換が行われています。さらに、他の芸術分野ではしばしば自らを縛るカテゴリーからの脱走が企てられるのに対し、映像分野には逆に他の分野がどんどん流入してくる現象が見られます。「視覚への欲求」によって起こる移行と変換・流入といった動きの状況、そしてそこから生まれた全く新しい次元で何かを表現しようとする作品を呈示するのが本展の目的であり、テーマです。

今回の映像工夫館シミュレーションは「アニメイテッド・イマジネーション - 視覚への欲求」と題して、主に映像分野以外の作家(造形・絵画・音学・写真・パフォーマンス等)が映像を用いて制作した作品に焦点をあてて展開します。

一階展示室では、オーストラリア人アーティスト、ステラークによるパフォーマンスを行います。彼は70年代から自分自身の肉体を用いて「視覚的な探求・聴覚的な拡大」をテーマに発表し、身体機能(脳波・鼓動・血流・筋肉の動き)をテクノロジーによって飛躍的に拡大・増幅し、レーザー光線の眼や「第3の手」を用いたパフォーマンスを発表してきました。今回も音と映像によって、拡張する身体を表現します。また、ここでは映像=動画、のイメージにとらわれずに制作している作家たちの作品も展示します。

二階展示室には上映会場を設けて、過去の芸術家たちが試みた映像表現を上映・紹介します。昨年の「イマジナリウムI」展同様、映像制作キットの配布やコンピュータを用いたワークショップも開催します。

■パフォーマンス (8月30・31・9月1日 19:00～)

ステラーク (パフォーマンス)

逢坂 卓郎 (ライト・アート)

田崎 和隆 (サウンド)

■出品作家

石原 友明

佐藤 篤司

成毛 桃子

藤本 由紀夫

■上映作品

原案オスカー・シュレンマー 「トリアディック・バレエ」

フェルナン・レジェ 「バレエ・メカニック」

ラスロ・モホリ=ナジ 「ライト・ディスプレイ」

オスカー・フィッシンガー 「ムラッティの行進」

マルセル・デュシャン 「アナミック・シネマ」

マン・レイ 「エマク・バキア」 他

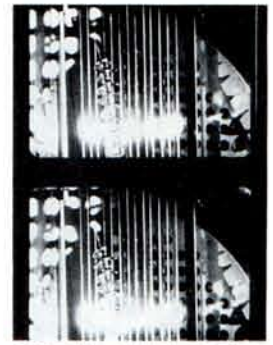
■ワークショップ

「メディア・ア・ラ・カルトースキャナによるイメージ変換プロセス」

コンピュータおよび作画ソフトやイメージ・スキャナを用いて、写真や絵からデジタル・イメージへの変換を行います。スキャナで読み込んだイメージを自分で加工し、新しいイメージを創作しましょう。



ビデオ・シャドウ〜オートマティック・アームと第3の手/
ステラーク、逢坂卓郎、田崎和隆



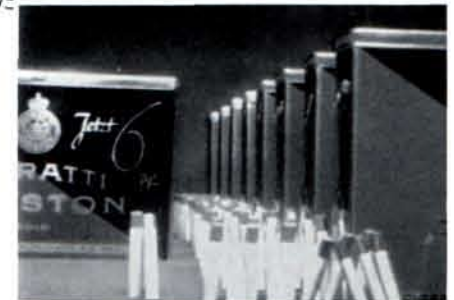
ラスロ・モホリ=ナジ/ライト・ディスプレイ



藤本由紀夫/Printed Eye



石原友明/SOUVENIR-I, S. M. (#2)



オスカー・フィッシンガー/ ムラッティの行進

*Aプログラムは随時。Bプログラム(トリアディック・バレエ)、Cプログラム(来るべき世界)は下記の通り。

	8/30(金)	31(土)	9/1(日)	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
12:00										
1:00	Aプログラム(バレエ・メカニック-チャルストン-ムラッティのダンス-アナミック・シネマ-アッシャー家の崩壊-ムラッティの行進-エマク・バキア-ハリウッド・エキストラ'9413の生と死-ライト・ディスプレイ・黒・白・灰色)									
2:00										
3:00										
4:00										
5:00										
6:00										
7:00										
8:00										

講 師: 草原 真知子 (CGコーディネーター)

日 時: 8月24日(土)・25日(日) 2日連続 10:00～16:00

定 員: 一般(中学生以上) … 20人

会 場: 東京都写真美術館 1階展示室

参加費: 無料(昼食持参)

申 込: 往復はがきに住所・氏名・年齢・職業・電話番号を明記して当館まで
お送り下さい。申込多数の場合は抽選にさせていただきます。

締 切: 8月17日 必着

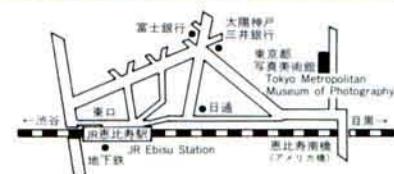
アニメイテッド・イマジネーション

1990年8月30日(金)―9月8日(日)・10日間

主催=東京都写真美術館

開館時間=正午～午後8時[最終入場は午後7時30分まで] 入館無料

東京都写真美術館 Tokyo Metropolitan Museum of Photography



東京都写真美術館
所 在 地
〒150 東京都渋谷区恵比寿4-19-24
TEL 03(3280)0031(代)

交通機関
JR・地下鉄恵比寿駅より徒歩5分
美術館専用の駐車場はございませんので、お車でのご来館はご遠慮下さい。